

# あかの四季彩

網野町の人口(人)			
	R3.1末	R3.2末	前月比
0~14歳	1,167	1,171	+4
15~64歳	6,478	6,462	-16
65歳~	4,853	4,863	+10
合計	12,498	12,496	-2

## 網野北小学校 京丹後市を世界へPR

### 魅力が詰まった観光パンフレット

京丹後市の保幼小中一貫教育の学習に「丹後学」という授業があります。自分たちが住む街の歴史や文化、魅力を発見することで、京丹後への愛着や誇りを持てるようにと平成28年度から行われています。

網野北小学校の6年生は、今年度、丹後学の授業で調べた京丹後市の魅力を市外へ発信するために、観光パンフレットの作成に取り組みました。

コロナ禍により行先が変更となった9月の修学旅行では、市内をはじめ伊根町や宮津市を周り、実際に現地を訪れて歴史や文化を学び、夕日ヶ浦や琴引浜などの観光地、ばら寿司や間人ガニといった京丹後の特産物が載った6種類の観光パンフレットを完成させました。

このパンフレットは、京丹後市観光公社と掛津区が平成27年から交流を続ける台湾の国立基隆海事高級職業学校へ送られました。3月4日にはリモートによる交流会が行われ、児童たちはパンフレットや写真を使って京丹後市の魅力をPRしました。参加した児童たちは、「このパンフレットを見て、都会の人や世界の人に京丹後市を知ってもらいたい」と話していました。



このパンフレットは京丹後市観光公社へも寄贈され、アミティ丹後1階観光案内窓口などでご覧いただけます！

(左)台湾の生徒とリモート交流会

(右)観光公社へ寄贈した様子

## 「Biz-Reborn 京丹後」テスト販売を実施

### 環境問題と向き合うメイドイン京丹後製品

京丹後市地域雇用促進協議会では、京丹後市域の製造業、観光業を中心に産業発展や企業成長を図ることを目的に、地域雇用活性化推進事業「Biz-Reborn 京丹後」を進めてきました。この事業では、異業種交流による“メイドイン京丹後”の新製品・新サービスの開発を目指しています。

3月18~19日には、京都市中京区のイベントスペースで、商品のテスト販売が行われました。網野町からは3団体が参加し、地元のビーチクリーン活動の中で回収したプラスチックを加工したコースターの販売(網野: Precious Plasticプロジェクト) や、シーグラスや貝

殻を使ったハーバリウムづくり体験(三津: 翔笑璃)、府内産の間伐材を使った知育玩具の販売(島津: 丹後木工所)などが行われました。

イベントに参加した地域おこし協力隊の八隅隊員は「海や自然が素晴らしいこと。しかしゴミ問題が地球規模で深刻であること。僕自身、京丹後市に移住してはじめてその問題に目を向けるようになり、海岸清掃に参加し、プラスチックを再生するプロジェクトを始めました。当日商品を手にとっていただいた方々のほとんどが、一緒になってこの問題について考えてくれたのがとても印象的でした。」と話していました。



自作のペットボトルキャップ破砕機を説明する八隅隊員  
(Precious Plasticプロジェクト)



ハーバリウムづくり体験  
(翔笑璃)



間伐材を使った積み木などの販売  
(丹後木工所)